

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】令和4年7月20日(2022.7.20)

【公開番号】特開2021-150163(P2021-150163A)

【公開日】令和3年9月27日(2021.9.27)

【年通号数】公開・登録公報2021-046

【出願番号】特願2020-48624(P2020-48624)

【国際特許分類】

H 01 R 13/631(2006.01)

10

【F I】

H 01 R 13/631

【手続補正書】

【提出日】令和4年7月11日(2022.7.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0029】

次に、本実施例のコネクタにおいて第1ハウジング10と第2ハウジング20を嵌合するための作業手順を説明する。まず、第2ハウジング20と回転部材30とを組み付ける。組付けに際しては、前側部品31Fと後側部品31Rを分離し、前側部品31Fを第2ハウジング20の外周に対し前方から外嵌するとともに、後側部品31Rを第2ハウジング20の外周に対し後方から外嵌する。前側部品31Fと後側部品31Rを合体させると、保持溝33が構成されると同時に、保持溝33に保持突起26が嵌合される。以上によって、回転部材30と第2ハウジング20との組付けが完了する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

30

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

第1ガイド部15と第2ガイド部25のうち第2ガイド部25は、突起状のガイド部である。第1ハウジング10と第2ハウジング20のうち突起状のガイド部(第2ガイド部25)が形成されていない側の第1ハウジング10には、螺旋状の誘導部13が形成されている。第1ガイド部15と第2ガイド部25は、誘導部13に突起状のガイド部(第2ガイド部25)を摺接させることによって、互いに嵌合する位置関係となるように相対回転するようになっている。

40